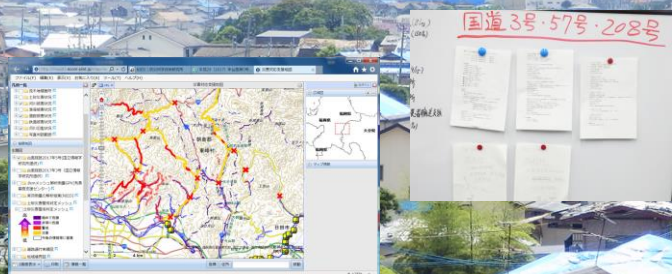


第2回 官民合同会議 災害初動期に都道府県が情報システムに 求める機能とは？

～ 熊本地震、九州北部豪雨への対応を踏まえて ～



■ 災害情報システムは如何にあるべきか！

熊本地震、九州北部豪雨

・・・近年の災害への実際の対応を踏まえ、議論を深めたいと思います。

■ 開催主旨

防災科学技術研究所では、実際の災害対応を行政機関と協働しながら、長年にわたり災害情報の共有・利活用について研究を進めて参りました。

第2回 官民合同会議では、平成28年（2016年）熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨での経験を踏まえ、災害初動期において、迅速かつ効果的な対応を実現するために、都道府県の立場から情報システムに求められる機能や、市町村との情報共有方法等について、議論を深めて参りたいと思います。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■ 日時、場所

日時： 2018年4月19日（木） 13:00～17:00（受付開始12:30）

場所： 秋葉原コンベンションホール（JR秋葉原駅・電気街口より徒歩1分）

■ 参加予約

定員 120名（先着順）以下のサイトから予約ください。

<https://risk.ecom-plat.jp/hp/180419sympo>

■ 特別ゲスト

熊本県 危機管理防災企画監 有浦 隆 様
福岡県 防災危機管理専門監 木原 士郎 様

※ 諸事情により、登壇者は予告なく変更する場合があります。

※ プログラムは裏目に記載。

● 問合せ先

国立研究開発法人 防災科学技術研究所
社会防災システム研究部門

TEL: 029-863-7553 FAX: 029-863-7541

第2回 官民合同会議

災害初動期に都道府県が情報システムに求める機能とは？ ～ 熊本地震、九州北部豪雨への対応を踏まえて ～

議 事 次 第

項目	内 容
【名称】	災害初動期に都道府県が情報システムに求める機能とは？ ～ 熊本地震、九州北部豪雨への対応を踏まえて～
【主催】	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門 「自然災害情報の利活用に基づく災害対策に関する研究」プロジェクト
【日時】	2018年4月19日(木) 13:00～17:00（受付開始12:30）
【会場】	秋葉原コンベンションホール（JR秋葉原駅・電気街口より徒歩1分）
【対象】	災害情報システムの導入をご検討の自治体（都道府県、市町村）の皆様 災害情報システムに関するビジネスを展開されている民間企業の皆様 災害時の情報共有・利活用にご関心のある皆様
【概要】	13:00 開始 代表者挨拶（理事長 林 春男） 13:10～14:30 第1部 災害対応の現状 ～ 熊本地震、九州北部豪雨の現場から～ （主幹研究員 花島誠人） ・特別ゲスト：熊本県 危機管理防災企画監 有浦 隆 様 福岡県 防災危機管理専門監 木原 士郎 様 14:30～15:00 第2部 都道府県の災害情報システムの整備現状 ～ 全国アンケートの結果より～ （主幹研究員 伊勢 正） 15:00～15:20 休憩 20分（ティーブレイク） 15:20～16:50 第3部 官民合同会議 都道府県システムに求める機能 16:50～16:55 総括 （総合防災情報センター長 白田裕一郎） 16:55～17:00 閉会挨拶 （レジリエント防災・減災研究推進センター長 藤原広行）

注）プログラムは予告なく変更される場合があります。